

自治会がなくなったら、どうなるでしょうか？

平成 30 年 4 月

回覧は不要、地域の行事は不要、各種のお祝いは不要、ラジオ体操等の自治会行事は不要と思う方には自治会は必要ないかも知れません。しかしほんとうにそうでしょうか？

●六丁目自治会内には私道に 17 の防犯灯があり、管理は自治会が行い、電気料金は自治会が支払っています。自治会がないとその私道の近辺の方々が電気料金を支払い、街灯の管理をすることになります。

●ごみ回収の規則が守られない集積所があります。近所の手前 直接は言いづらい、しかし解決したい場合はどうしたらよいのでしょうか。

現在は碑文谷六丁目清掃協会の担当者が清掃事務所やその近隣の世帯の橋渡しをし、解決を図っています。これからは自ら目黒区清掃事務所に連絡し問題解決を図らなければなりません。現在関係団体の碑文谷六丁目清掃協力会がその役割を果たしています。

●7 か所の掲示板の管理もしています。区からの情報は区報又はインターネットで見ることから不要という人々だけが住民ではありません。掲示板を頼る方々が存在します

●地域の行事として根付いている、7 月の盆踊り・1 月の火祭りは住区主催ですが、その構成員は各町会と自治会です。五町会のボランティアで人と費用を分担しています。当自治会がないと即できなくなることはありませんが、将来はこれらの行事の存続も難しくなる可能性があります。

●地域の民生委員・保護司・選挙の委員や立会員・明るい選挙委員・国勢調査員・子供 110 番・消火器の配置の推薦も自治会が担っています。本来は区の責任ですが、実際に区がすることは困難です。これらの方々の不在は地域のリスクを増します。

●自治会の分別資源回収報奨金から、日本赤十字社・赤い羽根募金・年末共同募金に寄付をしています。これらの寄付も地域の安心と安全のために役立っています。

●警察、消防署や日本赤十字社に協力し、防犯、防火と日赤の活動に参加しています。

●地域密着型通所介護事業所運営会議に地域代表として参加。
介護保険法により必要な会議で、地域代表として会長が出席しています。

- 大規模災害を想定し避難の運営協議会で5町会で準備をしています。
- 災害時に一人では避難が難しい方々のリストを目黒区から会長だけが委任され保有しています。これを基に避難誘導を依頼されています
- 自治会の活動のラジオ体操、スイカ割り、見学会、こども110番、夜回り、小学1年生入学祝い、敬老祝い、成人祝い、防犯・防火・路上喫煙防止・ひったくり防止・振り込め詐欺防止・挨拶運動等のキャンペーンがどれほど地域に役だっているかは定かではありませんが、地域の安定に一定の役割を果たしていると考えています。

自治会がないと、自治会の行事がなくなるという直接の行事だけでなく自治会が維持していた細い地域の絆も失われます。

自治会 会長 小宮邦治